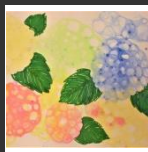
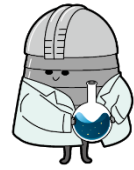


シャボン玉あじさい

～シャボン玉で絵を描いてみよう～

シャボン玉をつかった工作



シャボン玉あじさい

★★★ かんたん

シャボン玉で絵を描いてみよう！

シャボン玉、絵の具、あじさい

よういするもの



洗濯のり 食器用洗剤 絵の具 水 ストロー 画用紙 紙コップ 空のペットボトル 新聞紙など汚れてもいい紙



筆 セロハンテープ



シャボン玉液に絵の具で色を付けています。シャボン玉が衣服や壁などにつくと汚れてしまうので、色を付けたシャボン玉を飛ばして遊ばないようにしましょう。ストローを吹くときに間違っ吸い込んでしまっシャボン玉液を飲まないように気を付けましょう。

つくりかた

①



紙コップを半分に切る。

②



ペットボトルの中に洗濯のりと食器用洗剤、水を入れシャボン玉液を作る。

(このときは、洗濯のり 40ml、食器用洗剤 20ml、水 260ml を入れました)



泡が立ち過ぎないように、ペットボトルはゆっくふってまぜてね！



机や床の上が汚れないように新聞紙をしいて、汚れても良い格好で作業しましょう。

③

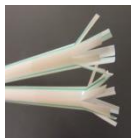


シャボン玉液に好きな色の絵の具を混ぜる。



このとき、何色か用意しておくカラフルなお花が描けます。

④



ストローの先を切って、テープで2本つなげる。2本つなげたストローで色付きシャボン玉液をブクブクと泡立たせる。泡がコップからはみ出すくらいに！

⑤



泡を画用紙にのせて、お花を描いていきます。

⑥



泡をのせた画用紙が乾いたら、好きなところに葉っぱを書いて完成です！

まめちしき



アジサイとシーボルト

梅雨の時期はジメジメとした天気が続いてしまいますね。外で遊べなくて嫌だなと思う方もいるかもしれませんが、そんな季節に楽しみたいお花があります。雨の街をカラフルに彩ってくれる“アジサイ”です。



長崎のオランダ商館の医師であったシーボルトは、アジサイを *Hydrangea otaksa* と名付け、世界に紹介しました。

この“オタクサ”はシーボルトが愛した女性 “お滝さん”に由来すると言われています。また、アジサイは長崎市の花になっているのです。